

29年度予算案・中小企業関係について

●平成29年度の予算案が発表

昨年12月、平成29年度予算案等が閣議決定され、経済産業省から「平成29年度 中小企業・小規模事業者関係予算案のポイント」が発表されました。

これによると、平成29年度の当初予算(中小企業対策費)は1,810億円。このうち、経済産業省計上は1,116億円で、過去7年で最大となりました。また、平成28年度の中小企業関連の補正予算は2,672億円でした。

今回は、同資料から平成29年度の中小企業関係予算案のポイントについてみていきます。

●基盤技術の高度化や海外展開等を支援

平成29年度の中小企業・小規模事業者関係予算案は、①経営力強化・生産性向上に向けた取組 ②活力ある担い手の拡大 ③安定した事業環境の整備 ④災害からの復旧・復興の4つの柱が基本となっています。

このうち①経営力強化・生産性向上に向けた取組の中で、「戦略的基盤技術高度化・連携支援事業」に130.0億円(平成29年度当初予算、以下<29当初>)が設定されています。

これは、中小企業・小規模事業者が産学官連携して行う研究開発や、新しいサービスモデルの開発等のための事業を支援するものです。

参考として、平成28年度の補正予算案では、革新的ものづくり・商業・サービス開発支援事業763.4億円、経営向上・IT基盤整備支援事業13.3億円、サービス等生産性向上IT導入支援事業100.0億円が設定されました。

また、同じ枠内で「小規模事業者経営改善資金融資事業(マル経融資)」42.5億円(29当初)として、商工会・商工会議所・都道府県商工会連合会の経営指導員の経営指導を受けた小規模事業者に対し、一定額を上限に無担保・無保証人・低利での融資が計画されています(平成28年度補正予算案では、小規模事業者広域型販路開拓支援パッケージ事業50.0億円、小規模事業者販路開拓支援事業[小規模事業者

持続化補助金]120.0億円)。この他に、「中小企業・小規模事業者海外展開戦略支援事業」23.9億円(29当初)、「地域・まちなか商業活性化支援事業」17.8億円(29当初)など、経営や生産性を支援する事業が予定されています。

●創業・事業承継、資金繰り支援等で企業を活性化

②活力ある担い手の拡大においては、「創業・事業承継支援事業」として、11.0億円が新規に設定されています。この事業では、産業競争力強化法の認定市区町村で創業を目指す創業者等を支援し、イベントの開催により創業機運の醸成が図られます。また、事業承継を円滑化するために、ニーズの掘り起こしおよび事業承継を契機とした新しい取組に対して支援が行われます。

「中小企業再生支援・事業引継ぎ支援事業」(61.1億円)<29当初>では、「中小企業再生支援協議会」において、財務上の問題解決のための事業再生が行われます。また、「事業引継ぎ支援センター」で事業引継ぎを行おうとする中小企業・小規模事業者にも支援が行われます。

③安定した事業環境の整備では、「きめ細かな資金繰り支援」225.8億円(加えて財務省計上分682.0億円)<29当初>として、政策金融や信用保証制度を通じ、中小企業・小規模事業者の資金繰りの円滑化が図られます(平成28年度補正予算案では、世界経済の不安定性などのリスクに備えた資金繰り支援642.0億円(うち財務省計上分326.0億円))。

●復旧・復興支援も引き続き

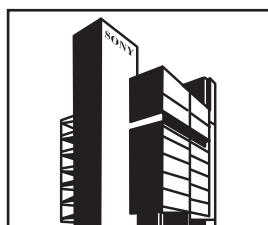
④災害からの復旧・復興では、「中小企業組合等共同施設等災害復旧事業(中小企業等グループ補助金)」など、引き続き復旧・復興支援事業が設定されています。

なお、今回ご紹介した「平成29年度 中小企業・小規模事業者関係予算案のポイント」は、経済産業省のホームページ(http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2017/index.html)からご覧いただけます。

東京今昔物語467

時代の思い出、また会う日まで

開業50年のソニービルを建て替える「銀座ソニーパークプロジェクト」により、4月1日からビルの解体が始まります。現在の営業は3月31日で一旦終了し、2018年夏、地上部分に「銀座ソニーパーク」、地下にショールームなどがオープン。2020年秋以降に新しいビルの建設が始まります。これに伴い、



2017年2月22日(水)～2017年3月31日(金)の期間、ソニービルでは新人アーティストによる音楽イベントや、最終日のフィナーレイベントなど、多彩なプログラムが予定されています。これを機に、銀座でソニービルと共にあった過去や未来に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。